



# サービス

この章では、他のシステムに対する ping やリモート サポートの設定など、このオペレーティングシステムで使用可能なユーティリティ機能について説明します。

## Ping

Ping ユーティリティ ウィンドウを使用すると、ネットワーク内の他のサーバに ping することができます。

他のシステムに ping するには、次の手順を実行します。

### 手順

**ステップ 1** [Cisco Unified Communications オペレーティングシステムの管理] ウィンドウで、[サービス] > [PING] を選択します。

[リモートに対する PING(Ping remote)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** ping するシステムの IP アドレスまたはネットワーク名を入力します。

**ステップ 3** ping 間隔を秒単位で入力します。

**ステップ 4** パケットサイズを入力します。

**ステップ 5** ping カウント、つまりシステムに ping する回数を入力します。



(注) ping を複数指定すると、ping コマンドには ping の日時がリアルタイムで表示されなくなります。指定した回数の Ping が完了した後で日時が表示されます。

**ステップ 6** IPsec を確認するかどうかを選択します。

**ステップ 7** PING をクリックします。

[リモートに対する PING(Ping remote)] ウィンドウに ping 統計情報が表示されます。

## リモート サポート

リモート アカウント サポート ウィンドウでは、シスコのサポート担当者が指定された時間にシステムにアクセスできるリモート アカウントを設定できます。

リモート サポート プロセスは次のようになっています。

1. お客様がリモート サポート アカウントを設定します。このアカウントには、シスコ担当者がアクセスできる期間について設定可能な有効期限が含まれています。
2. リモート サポート アカウントが設定されると、パス フレーズが作成されます。
3. お客様がシスコ サポートに電話をかけ、リモート サポート アカウント名とパス フレーズを担当者に伝えます。
4. シスコ サポート担当者がこのパス フレーズをデコーダ プログラムに入力すると、パス フレーズからパスワードが作成されます。
5. シスコ サポート担当者は復号されたパスワードを使用して、リモート サポート アカウントでお客様のシステムにログインします。
6. リモート サポート アカウントの有効期限が切れると、シスコ サポート担当者はリモート サポート アカウントにアクセスできなくなります。

リモート サポートを設定するには、次の手順を実行します。

### 手順

- 
- ステップ 1** [Cisco Unified Communications オペレーティングシステムの管理] ウィンドウで、[サービス] > [リモートサポート] を選択します。

[リモートサポート (Remote Support)] ウィンドウが表示されます。

- ステップ 2** リモート サポート アカウントが設定されていない場合は、[追加] をクリックします。

- ステップ 3** リモート アカウントのアカウント名と、アカウントの有効期限を日数で入力します。



---

(注) アカウント名は、長さが 6 文字以上、すべて小文字の英字にしてください。

---

- ステップ 4** [保存] をクリックします。

リモートサポートの詳細ウィンドウが表示されます。詳細ウィンドウの各フィールドの説明については、表 8-1 を参照してください。

- ステップ 5** 作成されたパス フレーズを使用してシステムにアクセスするには、シスコ担当者にご連絡ください。
-

表 8-1 リモートサポートの詳細のフィールドと説明

フィールド	説明
デコードバージョン (Decode Version)	使用するデコーダのバージョンを示します。
アカウント名 (Account Name)	リモートサポートアカウントの名前を表示します。
有効期限 (Expires)	リモートアカウントへのアクセスが無効になる日時を表示します。
パスフレーズ (Pass Phrase)	作成されたパスフレーズを表示します。

